

熊本県内バス電車無料化 社会実験と検証

九州産交バス(株) 今釜卓哉
 熊本大学大学院 先端科学研究部教授 溝上章志
 ヤフー(株) 大屋誠
 (株)トラフィックブレイン 太田恒平
 熊本市都市建設局 都市政策部 交通政策課 黒部宝生

はじめに

SAKURAMACHI Kumamoto
 2019年9月14日開業

県内8社1局4694便のバス/電車を無料に

SAKURAMACHI DATA Project発足



- バスターミナルリニューアルと同時期に開業
- 社運をかけた再開プロジェクト

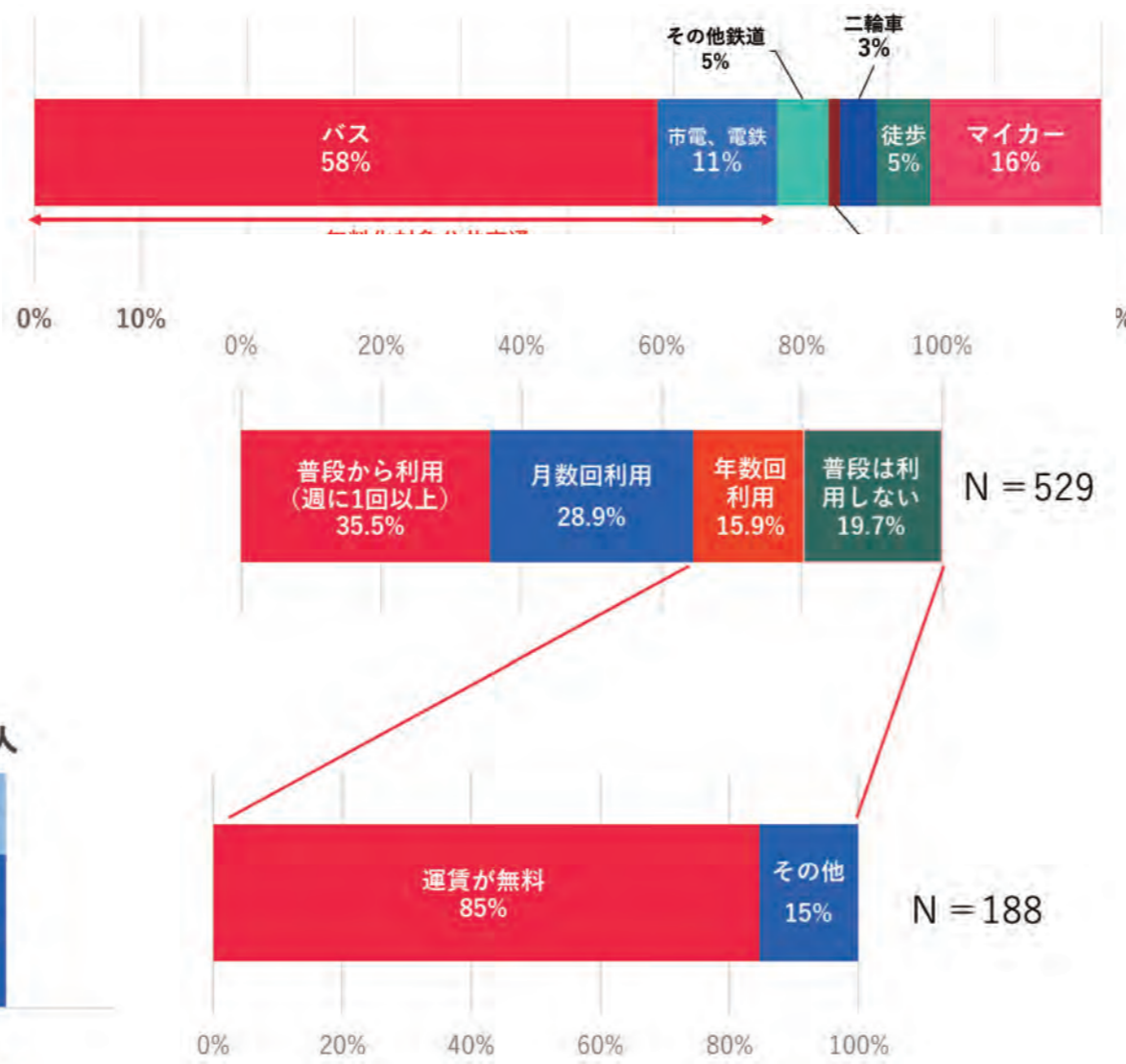
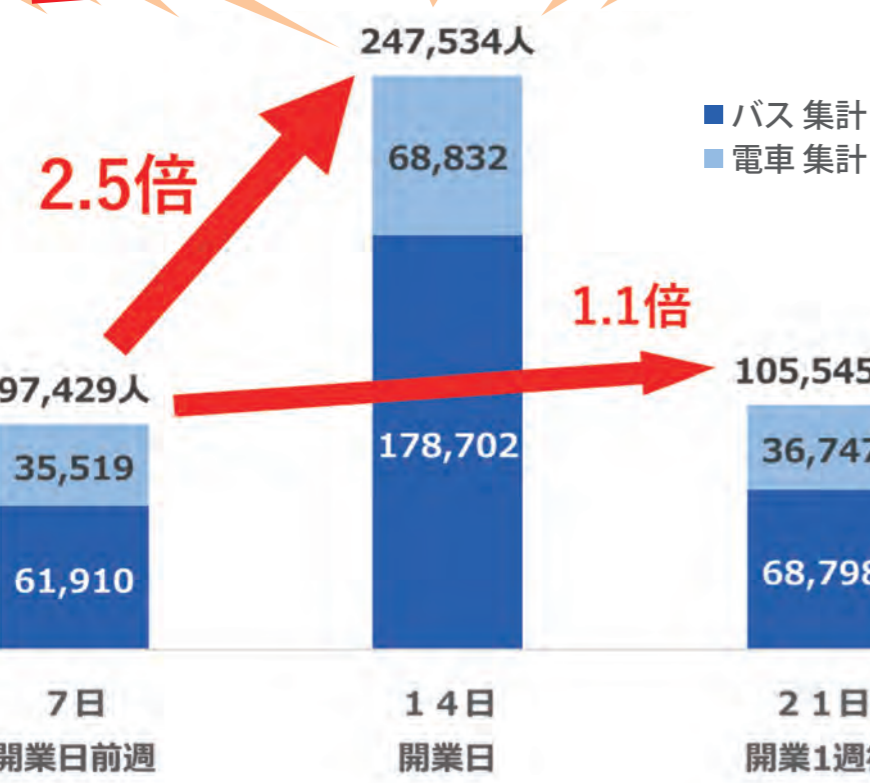
- 渋滞緩和のため公共交通利用を促進
- 限られた広告費で交通対策と盛上げを両立

- 地域内外の知恵とデータを集めた体制構築
- 公共交通無料化の地域活性化への効果を示す

分析結果

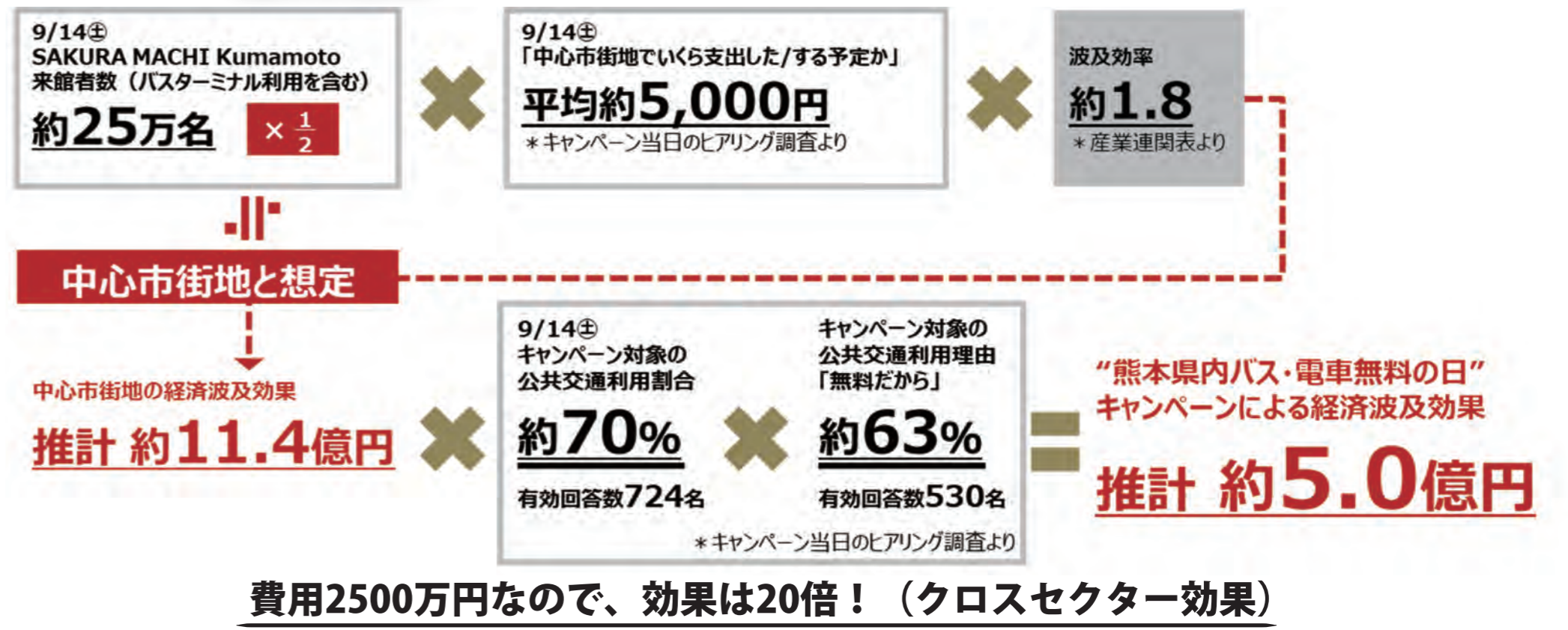
来場者数・交通手段

SAKURA MACHI Kumamoto
 14日来場者25万人!

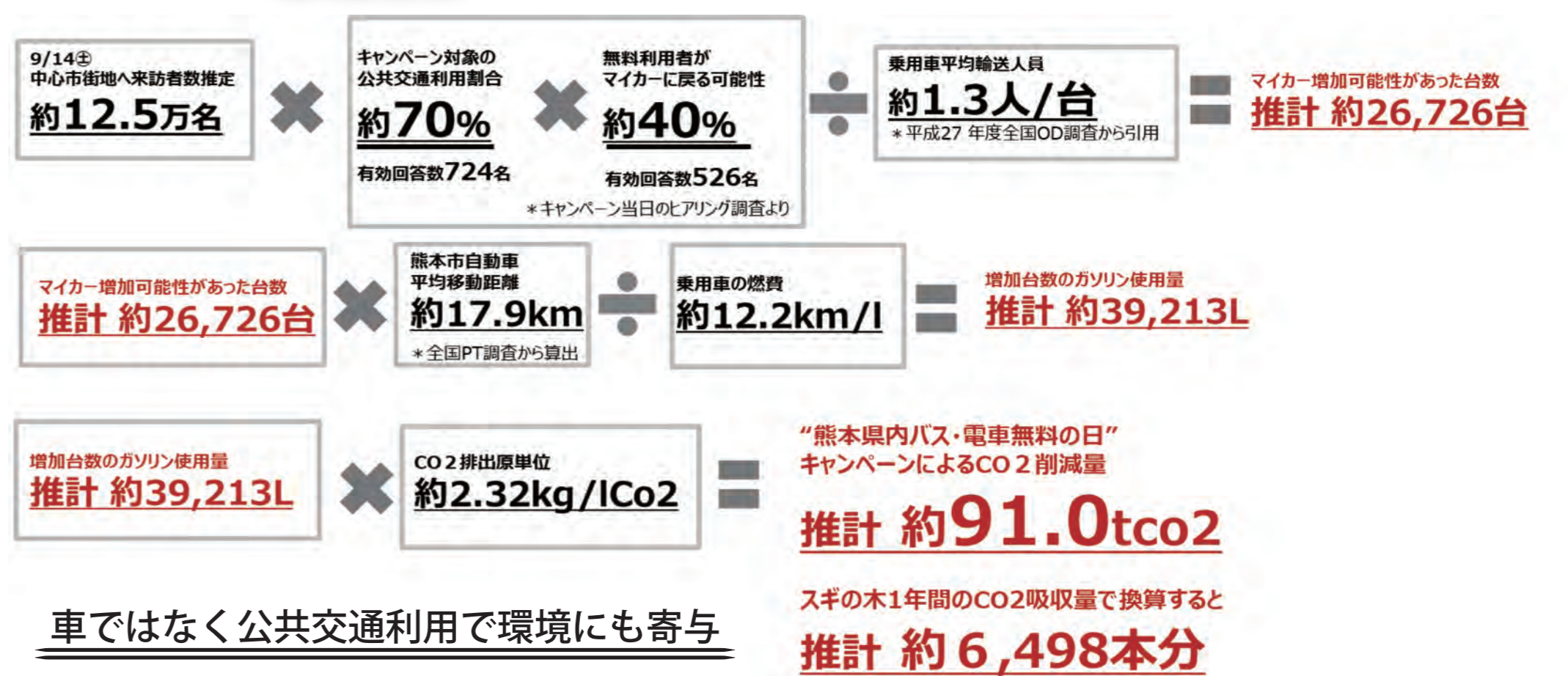


普段利用しない人が乗車し、前週の2.5倍増

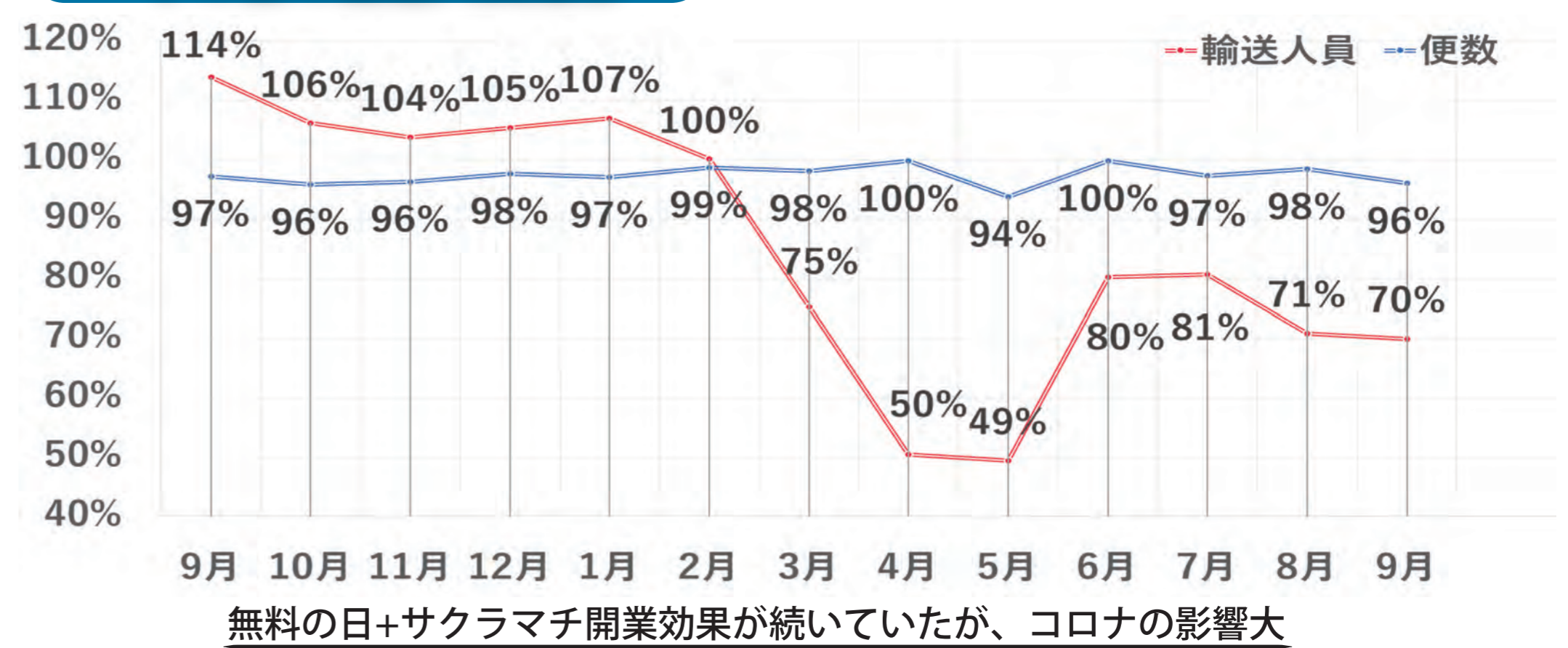
経済効果



環境効果



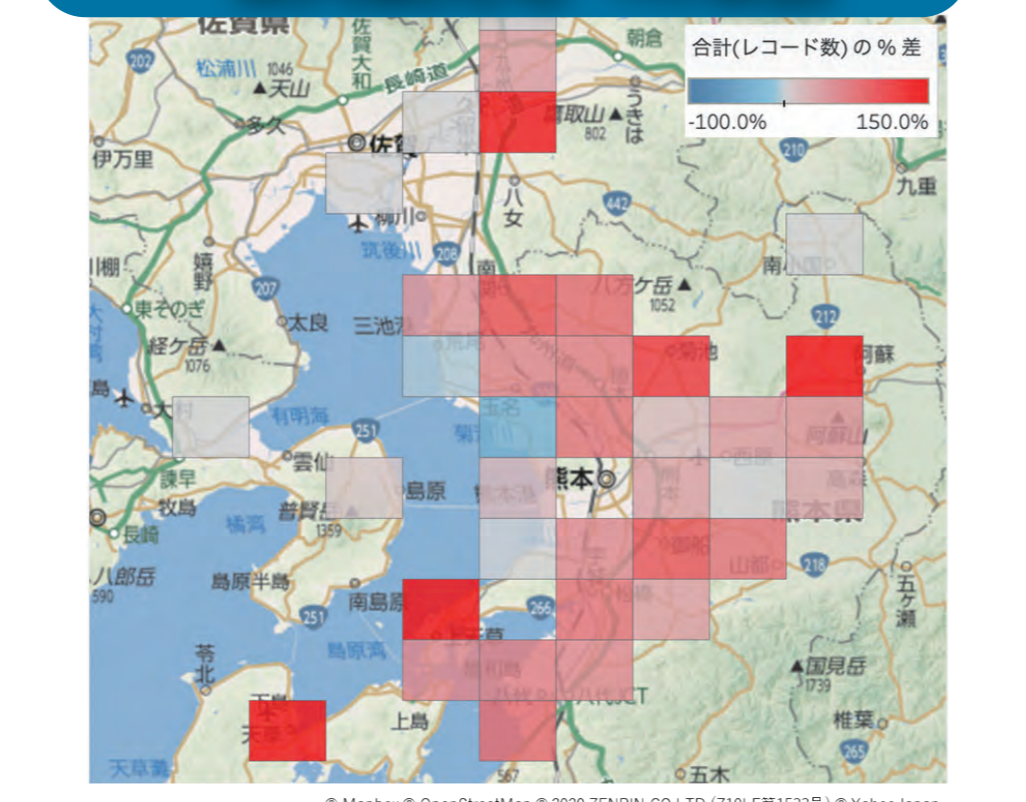
その後の輸送人員推移



中心市街地の回遊



県内観光地への来訪



渋滞緩和

7日 17.9 km 14日 15.1 km 21日 27.1 km



得られた知見

1 イベント×運賃無料化の地域活性化への効果

- 市街地・郊外両方の活性化、渋滞緩和、実施費用を大きく上回る経済効果が発現。
- 今回はあくまでイベント時の効果なので、平常時の運賃のあり方は要検討。

2 公共交通利用のきっかけに

- 普段公共交通を利用しない人にも転換効果があり、公共交通利用のきっかけになる。
- 長期的な継続効果は要観察。

3 データ活用のノウハウ

- 地域内のデータと人流データを併用した方法は、全国にも展開が可能。
- 人流データは取得率が数%のため、サンプル数に留意した集計が必要。

今後の展開

実施中 データ分析の情報交換

- コロナ禍による渋滞分析やICカードデータ分析等の日頃取り組んでいるデータ分析の共有

検討中 第2回の実施へ

- 当初は秋ごろ実施予定だったが、コロナの影響で次期開催を調整中。次回は100円の日構想あり

検討中 MaaS / スマートシティ

- 熊本県内バス電車無料の日をきっかけに、交通以外の分野を超えた連携が増えており、今後のMaaSやスマートシティのきっかけづくりになっている。

来年はJCOMM熊本開催! 来てはいよー